

科目番号	5	科目名	人間と社会																																																	
英文科目名																																																				
大学・短期大学名	滋賀		大学																																																	
連絡先	滋賀大学学務課総務係																																																			
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122																																																
担当教員	黒石 晋		(経済 学部 教授)																																																	
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用																																																	
教室名		会場	彦根キャンパス																																																	
授業期間	2022 年 10 月 5 日 (水) ~ 2023 年 1 月 25 日 (水) <毎週 水曜日> 3 時限・講時 12 : 50 ~ 14 : 20																																																			
超過時の選考方法	書類により選考																																																			
成績評価方法	定期試験 (筆記)			%																																																
	レポート試験 (期末)		100	%																																																
	平常点 (出席・授業態度)			%																																																
	その他 ()			%																																																
別途負担費用	なし		あり () 円																																																	
その他特記事項	授業の中で任意提出の課題を課すことがあるので、提出すれば「意欲点」として成績に加算する。																																																			
<p><講義概要・到達目標> 【授業の目的と概要】 (注意)以下は「対面授業」を念頭に置いた内容である。コロナの状況により、オンライン授業に切り替わる、あるいは併用する可能性もないではない。オンライン授業併用の場合でも、授業の進行は変わらないよう努力するが、細部や試験の実施形態については変更される可能性がある。</p> <p>現代社会で何気なく使っている貨幣であるが、その本質とは何か？ その歴史は？ ルーツはどこにあるのか？...こういった諸点についてあらためて考察し、ふだん気にとめることのない空気のような存在が社会を成り立たせる重要な契機となっていることを理解することが本講義の目的である。出席者の人数にもよるが、適宜、担当講師所蔵の貨幣コレクションの中から実物を観察してもらう機会も設けることにしたい。自分の眼で見ることが重要である。また、最新の成分分析結果も披露したい。</p> <p>【授業の到達目標】 貨幣は人間の欲望を体現するメディアである。そしていったん成立した貨幣は、その場・その時の人間の欲望を得て活性化し、社会のさまざまな局面にさまざまな形で食い込み、ひとびとを結び、社会を開発し、また去っていく。こういった貨幣のしぶとさ、はかなさ、一貫性、といったことどもについて理解が得られればよいと考えている。</p>																																																				
<p><授業スケジュール></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>月日</th> <th>テーマ・キーワード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10月5日</td><td>オリエンテーション</td></tr> <tr><td>2</td><td>10月12日</td><td>貨幣史のための貨幣をめぐる基礎概念Ⅰ</td></tr> <tr><td>3</td><td>10月19日</td><td>貨幣史のための貨幣をめぐる基礎概念Ⅱ</td></tr> <tr><td>4</td><td>10月26日</td><td>全体の概観～前史・リディアとペルシア</td></tr> <tr><td>5</td><td>11月2日</td><td>ギリシア・ローマⅠ</td></tr> <tr><td>6</td><td>11月9日</td><td>ローマⅡ(悪鑄期から東ローマ)</td></tr> <tr><td>7</td><td>11月16日</td><td>西欧暗黒期(フランク)・イスラム盛期(アラブ・ビザンツ・バイキング)</td></tr> <tr><td>8</td><td>11月30日</td><td>大型銀貨と金貨の復活(ピレンヌ)</td></tr> <tr><td>9</td><td>12月7日</td><td>新大陸の銀</td></tr> <tr><td>10</td><td>12月14日</td><td>植民地獲得競争と「貿易銀」</td></tr> <tr><td>11</td><td>12月21日</td><td>日本・無文銀銭・富本銭・皇朝十二銭</td></tr> <tr><td>12</td><td>1月4日</td><td>日本・中世～織豊～鎖国まで</td></tr> <tr><td>13</td><td>1月11日</td><td>日本・江戸期の幣制</td></tr> <tr><td>14</td><td>1月18日</td><td>日本・幕末～近代</td></tr> <tr><td>15</td><td>1月25日</td><td>まとめ</td></tr> </tbody> </table>					回	月日	テーマ・キーワード	1	10月5日	オリエンテーション	2	10月12日	貨幣史のための貨幣をめぐる基礎概念Ⅰ	3	10月19日	貨幣史のための貨幣をめぐる基礎概念Ⅱ	4	10月26日	全体の概観～前史・リディアとペルシア	5	11月2日	ギリシア・ローマⅠ	6	11月9日	ローマⅡ(悪鑄期から東ローマ)	7	11月16日	西欧暗黒期(フランク)・イスラム盛期(アラブ・ビザンツ・バイキング)	8	11月30日	大型銀貨と金貨の復活(ピレンヌ)	9	12月7日	新大陸の銀	10	12月14日	植民地獲得競争と「貿易銀」	11	12月21日	日本・無文銀銭・富本銭・皇朝十二銭	12	1月4日	日本・中世～織豊～鎖国まで	13	1月11日	日本・江戸期の幣制	14	1月18日	日本・幕末～近代	15	1月25日	まとめ
回	月日	テーマ・キーワード																																																		
1	10月5日	オリエンテーション																																																		
2	10月12日	貨幣史のための貨幣をめぐる基礎概念Ⅰ																																																		
3	10月19日	貨幣史のための貨幣をめぐる基礎概念Ⅱ																																																		
4	10月26日	全体の概観～前史・リディアとペルシア																																																		
5	11月2日	ギリシア・ローマⅠ																																																		
6	11月9日	ローマⅡ(悪鑄期から東ローマ)																																																		
7	11月16日	西欧暗黒期(フランク)・イスラム盛期(アラブ・ビザンツ・バイキング)																																																		
8	11月30日	大型銀貨と金貨の復活(ピレンヌ)																																																		
9	12月7日	新大陸の銀																																																		
10	12月14日	植民地獲得競争と「貿易銀」																																																		
11	12月21日	日本・無文銀銭・富本銭・皇朝十二銭																																																		
12	1月4日	日本・中世～織豊～鎖国まで																																																		
13	1月11日	日本・江戸期の幣制																																																		
14	1月18日	日本・幕末～近代																																																		
15	1月25日	まとめ																																																		

<教科書・参考書>

【教科書】

特になし。必要に応じプリントを配布する。

【参考書】

参考書1

ISBN 4794804024

書名 文明の「血液」—貨幣から見た世界史

著者名 湯浅赳男

出版社 新評論

出版年 1998

参考書2

ISBN 4041032199

書名 お金の流れでわかる世界の歴史

著者名 大村大次郎

出版社 KADOKAWA

出版年 2015

参考書3

ISBN 415209611X

書名 貨幣の「新」世界史——ハンムラビ法典からビットコインまで

著者名 カビール・セガール

出版社 早川書房

出版年 2016

参考書4

ISBN 4623052591

書名 欲望するシステム

著者名 黒石晋

出版社 ミネルヴァ書房

出版年 2009

参考書5

ISBN 449237082x

書名 江戸の貨幣物語

著者名 三上 隆三

出版社 東洋経済新報社

出版年 1996

参考書6

ISBN 9784121025081

書名 貨幣が語るローマ帝国史：権力と図像の千年

著者名 比佐 篤

出版社 中央公論新社

出版年 2018

参考書7

ISBN 4062920301

書名 円の誕生：近代貨幣制度の成立

著者名 三上隆三

出版社 講談社現代文庫

出版年 2011